

## 登壇者一覧

### 第1部 報告：私たちの新たな試み—思いをこれからへ

#### 司会



#### 李惠珍 (イ・ヘジン)

(公財) 日本国際交流センター シニア・プログラム・オフィサー

韓国・ソウル出身。2003年に留学生として来日。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。一橋大学社会学研究科技術研究員、お茶の水女子大学特任リサーチ・フェローを経て2014年11月より現職。国際的な人の移動にかかわる調査・研究、日本国内およびアジアにおける関係者・機関との協働プロジェクトの企画・運営を通じた啓発・アドボカシー活動に従事。専門は、移民・外国人政策、労働政策。社会学博士。

#### 登壇者



#### 本田 文代

(NPO 法人) 場とつながりの研究センター国際事業部長

2003年～2009年3月まで兵庫県三田市の三田市国際交流協会職員として勤務。約100名のボランティアと年間30余りの事業を行う。翌1年間、大阪府豊中市のとよなか国際交流協会に勤務。豊中市内の識字教室にかかわる。その後、活動する場とつながりの研究センターにて神戸市北区北神地域に日本語教室を立ち上げる。現在、「北神日本語教室」のコーディネーターも兼務している。



#### ドゥ・シ・ハ・エン

(NPO 法人) 場とつながりの研究センター国際事業部スタッフ

ベトナム・ハノイ出身の30歳。日本滞在7年。ベトナム・バンキングアカデミー卒業後、滋賀県にある立命館大学大学院にてエコノミックデベロップメントについて学び修士課程修了。現在、場とつながりの研究センターで地域情報紙作成なども行いながら、在住外国人の相談に寄り添う活動を行っている。家庭では2歳8か月の双子のママとして、子育てにも奮闘中。



#### 岩橋 誠

(NPO 法人) POSSE 相談員

POSSE で技能実習生など外国人労働者やクルド人など難民の支援に携わる。国際NGO・Clean Clothes Campaign 運営委員。withnews「やさしい日本語で答える仕事の悩み」執筆。北海道大学公共政策学研究センター研究員。共著に、『外国人労働相談最前線』（岩波ブックレット、2022）。共訳書に、キア・ミルバーン『ジェネレーション・レフト』、アーロン・バナナフ『オートメーションと労働の未来』。



**穴戸 健一**

**(一社) JP-MIRAI サービス事務局長代行**

**JICA 理事長特別補佐**

1986年東京大学農学部卒後、国際協力事業団に入団。

本部、インドネシア勤務後、ガーナ事務所長、スーダン駐在員事務所長、地球環境部次長（自然環境）、関西国際センター所長、農村開発部長、上級審議役（科学技術・外国人材）などを経て、2022年10月より現職。著書には「アフリカ紛争国スーダンの復興に  
かける ～復興支援 1500 日の記録」（佐伯出版）がある。2019年から JICA の外国人材受入支援の  
事業及び「責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム」（JP-MIRAI）を主導。

**第2部 座談会：日本で日々を暮らす外国人の声—声から課題を探る**

**司会**



**藤原 航**

**(NPO 法人) ジャパン・プラットフォーム 地域事業部長**

大学卒業後から NPO の中間支援団体支援等を行う。2011 年以降、民間非  
営利団体、公共機関を経て、2017 年より JPF に入職。『日本の NPO 史』  
（ぎょうせい、共著、2005）国際交流基金日米センターの NPO フェロー  
（第 8 期、2007～2008）。

**登壇者**



**長澤 正隆**

**カトリックさいたま教区終身助祭**

**(NPO 法人) 北関東医療相談会理事・事務局長**

大学卒業後は食品会社に勤務、1997 年 6 月「外国人のための医療相談  
会」、2013 年 4 月「特定非営利活動法人北関東医療相談会」を設立しま  
した。社会的に脆弱な立場の在留資格の無い外国人の支援を、医療相談を  
中心として支援しています。近年は特に仮放免者や難民申請者の生活支援  
を実施しています。



### 松本 雅美

(学校法人) ムンド・デ・アレグリア学校 校長

南山大学外国語学部イスパニア語学科卒。スズキ(株)人事部採用課で日系人採用担当。退職後も多くの日系人の相談に対応する中、「浜松にスペイン語で学べる学校を作って」と懇願され、私財を投じ南米系外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」を設立。以来20年、学校長として母国語教育だけでなく日本語教育にも力をいれ、本人が望めば母国でも日本でも進学・就職できる教育を実践。ペルー共和国より文化勲章(2011年)、令和3年外務大臣表彰など受賞。



### 村松 清玄 (むらまつ せいげん)

(公社) シャンティ国際ボランティア会 国内事業担当

1993年、青森県五戸町生まれ。曹洞宗僧侶。東北大学文学部卒業後、大本山永平寺で3年間修行。修行中に会ったシャンティの活動に共鳴し、2020年11月にシャンティに入職。現在、豊島区における在留外国人支援事業、外国ルーツの子どもの居場所づくり事業を担当。



### 吉水 慈豊 (よしみず じほう)

(NPO 法人) 日越ともいき支援会 代表理事

1969年生まれ。浄土宗僧侶。NPO 法人日越ともいき支援会代表理事。ベトナム人技能実習生、留学生などが若くして命を落とすことに憤りを感じ、2014年より『命と人権を守る』支援活動を行う。日本にいる在留ベトナム人技能実習生、留学生の数は急増し、劣悪な環境に置かれている彼らの相談対応は、コロナ禍急増した。2020年1月、『日越ともいき支援会』は東京都より非営利活動法人としての認可も受け、その支援活動は相談の枠を超え、住居の確保、労使交渉にまで及ぶ。ベトナム人の命と人権を守る活動を通して、『ともにいきる』社会を実現することを目指している。

## 第3部 トークセッション：わたしの描く未来—共に暮らす、共に生きる社会へ 司会



### 毛受 敏浩 (めんじゅ としひろ)

(公財) 日本国際交流センター 執行理事、チーフ・プログラム・オフィサー

兵庫県庁で10年間の勤務後、1988年より日本国際交流センターに勤務。多文化共生・移民政策、草の根の国際交流など多様な事業に携わる。慶応大学等で非常勤講師を歴任。内閣官房地域魅力創造有識者会議委員(2018年)、文化庁文化審議会委員(国語分科会日本語小委員会、2019年～)、新宿区多文化共生まちづくり会議メンバー(2012年～)。著書に『移民が導く日本の未来』(明石書店、2020)等多数。慶応大学法学部卒。米国エバグリーン州立大学公共政策大学院修士。

## 登壇者



### 田中 宝紀（たなか いき）

**（NPO 法人）青少年自立援助センター 定住外国人支援事業部責任者**

16才で単身フィリピンのハイスクールに留学。フィリピンの子ども支援 NGO を経て 2010 年より現職。海外にルーツを持つ子どもたちのための専門家による教育支援事業『YSC グローバル・スクール』を運営する他、日本語を母語としない若者の自立就労支援に取り組む。文科省「中央教育審議会」臨時委員（初等中等教育分科会）、日本ユネスコ国内委員会委員他。著書『海外ルーツの子ども支援 言葉・文化・制度を超えて共生へ』（青弓社、2021）



### 鳥井 一平

**（NPO 法人）移住者と連帯する全国ネットワーク**

**共同代表理事**

外国人技能実習生権利ネットワーク運営委員、全統一労働組合特別執行委員、JNATIP（人身売買禁止全国ネットワーク）共同代表、中小労組政策ネットワーク 事務局長、自主生産ネットワーク代表。

1990 年以來外国人労働者の権利支援活動に携わる。1993 年、「外国人春闘」を組織化。社会的に「外国人労働者問題」を認知させる。2005 年、外国人技能実習生 が時給 300 円で働かされている実態を告発し、技

能実習生支援活動を本格化。「現代の奴隷制」と批判される技能実習制度の問題を追及してきた活動と永年にわたる外国人労働者支援が認められ、アメリカ国務省から 2013 年度の

“Trafficking in Persons Report Heroes（人身売買と闘うヒーロー）”に選ばれた。2019 年、NHK『プロフェッショナル』で活動が紹介される。著書『国家と移民』（集英社新書）